

# 令和 3 年度 病院事業決算状況

都道府県名 高知県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	あき総合病院	2
-	幡多けんみん病院	3
土佐市	土佐市民病院	4
四万十市	市民病院	5
本山町	嶺北中央病院	6
いの町	いの町立国民健康保険仁淀病院	7
佐川町	高北国保病院	8
梶原町	国保梶原病院	9
大月町	国保大月病院	10
高知県・高知市病院企業団	高知医療センター	11

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				高知県	
市町村・組合名					
病院名 あき総合病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	20,771 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨 へ 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	175	80.9	82.4	89.7
療養	-	-	-	-
結核	5	0.8	1.0	6.3
精神	90	88.7	86.1	88.9
感染症	-	-	-	-
計	270	82.0	82.2	87.9
平均在院日数(一般病床のみ)		17.8	17.0	17.5

設立団体の状況		
人口(人)	691,527	
決算規模(千円)	530,078,883	
標準財政規模(千円)	279,801,774	
財政力指数	0.26105	
経常収支比率(%)	89.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	173.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,157,120			
1 経常収益	6,120,738			
(1) 医業収益	4,283,488			
(うち修正医業収益)	4,107,745			
入院収益	2,822,271			
外来収益	1,211,838			
診療収入計	4,034,109			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	249,379			
(うち他会計負担金)	175,743			
(2) 医業外収益	1,837,250			
(うち国・都道府県補助金)	238,624			
(うち他会計補助・負担金)	1,314,030			
(うち長期前受金戻入)	257,635			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	36,382			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,304,676			
2 経常費用	6,198,823			
(1) 医業費用	5,873,097			
職員給与費	3,463,435	80.9	60.2	64.0
材料費	680,869	15.9	25.3	19.9
(うち薬品費)	345,604	8.1	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	335,246	7.8	11.6	9.6
減価償却費	426,211	10.0	9.0	9.9
経費	1,284,540	30.0	22.5	28.4
(うち委託料)	837,269	19.5	12.5	13.7
研究研修費	13,330			
資産減耗費	4,712			
(2) 医業外費用	325,726			
(うち支払利息)	83,205	1.9	1.2	1.3
(3) 特別損失	105,853			
損益	-78,085			
純損益	-147,556			
累積欠損金	8,540,281			
経常収支比率	98.7		105.6	104.2
医業収支比率	72.9		85.1	81.4
修正医業収支比率	69.9		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	24.3		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	34.8		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	24.2		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	74.7		93.6	91.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,613,773
1 固定資産	17,561,500
(1) 有形固定資産	16,862,987
(2) 無形固定資産	11,361
(3) 投資その他の資産	687,152
2 流動資産	6,052,273
(1) 現金及び預金	3,703,268
(2) 未収金及び未収収益	2,187,535
(3) 貸倒引当金( )	1,702
(4) 貯蔵品	163,172
3 繰延資産	-
負債合計	26,072,962
1 固定負債	18,158,259
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,057,189
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	4,847,783
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,253,287
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,708,284
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,495,748
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	475,183
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,651,696
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,206,419
(1) 長期前受金	14,509,374
(2) 長期前受金収益化累計額( )	10,302,955
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,459,189
1 資本金	9,073,996
2 剰余金	-11,533,185
(1) 資本金剰余金	1,234,080
(2) 利益剰余金	-12,767,265
負債・資本合計	23,613,773
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,459,189
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,448,476	1,489,773
資本勘定繰入	185,440	306,855
計	1,633,916	1,796,628

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	113.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				高知県	
市町村・組合名					
幡多けんみん病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	26,023 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救急が感へ災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	291	74.9	68.2	68.8
療養	-	-	-	-
結核	28	0.3	0.5	2.0
精神	-	-	-	-
感染症	3	-	-	-
計	322	67.7	61.7	63.0
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	12.8	12.9

設立団体の状況	
人口(人)	691,527
決算規模(千円)	530,078,883
標準財政規模(千円)	279,801,774
財政力指数	0.26105
経常収支比率(%)	89.6
健全化	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	
実質公債費比率(%)	10.6
将来負担比率(%)	173.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,877,950			
1 経常収益	8,842,139			
(1) 医業収益	7,018,809			
(うち修正医業収益)	6,831,921			
入院収益	4,702,209			
外来収益	1,969,749			
診療収入計	6,671,958			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	346,851			
(うち他会計負担金)	186,888			
(2) 医業外収益	1,823,330			
(うち国・都道府県補助金)	272,246			
(うち他会計補助・負担金)	1,139,936			
(うち長期前受金戻入)	371,021			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	35,811			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,876,959			
2 経常費用	8,735,712			
(1) 医業費用	8,253,274			
職員給与費	4,447,186	63.4	60.2	60.7
材料費	1,609,325	22.9	25.3	24.9
(うち薬品費)	914,807	13.0	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	690,252	9.8	11.6	11.7
減価償却費	533,481	7.6	9.0	9.2
経費	1,614,101	23.0	22.5	21.2
(うち委託料)	1,016,015	14.5	12.5	11.9
研究研修費	23,091			
資産減耗費	26,090			
(2) 医業外費用	482,438			
(うち支払利息)	121,492	1.7	1.2	1.3
(3) 特別損失	141,247			
損益	106,427			
純損益	991			
累積欠損金	4,226,984			
経常収支比率	101.2		105.6	106.9
医業収支比率	85.0		85.1	85.8
修正医業収支比率	82.8		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	15.0		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	18.9		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	14.9		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	86.0		93.6	96.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,613,773
1 固定資産	17,561,500
(1) 有形固定資産	16,862,987
(2) 無形固定資産	11,361
(3) 投資その他の資産	687,152
2 流動資産	6,052,273
(1) 現金及び預金	3,703,268
(2) 未収金及び未収収益	2,187,535
(3) 貸倒引当金( )	1,702
(4) 貯蔵品	163,172
3 繰延資産	-
負債合計	26,072,962
1 固定負債	18,158,259
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,057,189
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	4,847,783
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,253,287
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,708,284
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,495,748
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	475,183
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,651,696
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,206,419
(1) 長期前受金	14,509,374
(2) 長期前受金収益化累計額( )	10,302,955
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,459,189
1 資本金	9,073,996
2 剰余金	-11,533,185
(1) 資本金剰余金	1,234,080
(2) 利益剰余金	-12,767,265
負債・資本合計	23,613,773
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,459,189
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,274,689	1,326,824
資本勘定繰入	599,211	886,667
計	1,873,900	2,213,491

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	113.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				高知県	
市町村・組合名	土佐市				
病院名	土佐市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	13,146 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	30	指定病院の状況	救臨 災		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	150	69.6	77.0	87.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	69.6	77.0	87.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.4	15.0	18.0

設立団体の状況		
人口(人)	25,732	
決算規模(千円)	16,422,118	
標準財政規模(千円)	8,126,556	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	82.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.1
	将来負担比率(%)	76.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,605,324			
1 経常収益	4,605,324			
(1) 医業収益	3,083,641			
(うち修正医業収益)	2,972,858			
入院収益	1,658,313			
外来収益	1,209,335			
診療収入計	2,867,648			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	215,993			
(うち他会計負担金)	110,783			
(2) 医業外収益	1,521,683			
(うち国・都道府県補助金)	1,274,722			
(うち他会計補助・負担金)	102,537			
(うち長期前受金戻入)	120,408			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,590,848			
2 経常費用	3,590,151			
(1) 医業費用	3,534,862			
職員給与費	2,165,087	70.2	60.2	66.7
材料費	433,313	14.1	25.3	17.8
(うち薬品費)	189,382	6.1	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	243,931	7.9	11.6	9.2
減価償却費	259,618	8.4	9.0	10.4
経費	658,750	21.4	22.5	28.7
(うち委託料)	237,764	7.7	12.5	13.3
研究研修費	6,619			
資産減耗費	11,475			
(2) 医業外費用	55,289			
(うち支払利息)	48,695	1.6	1.2	1.3
(3) 特別損失	697			
損益	1,015,173			
純損益	1,014,476			
累積欠損金	-			
経常収支比率	128.3		105.6	105.7
医業収支比率	87.2		85.1	80.6
修正医業収支比率	84.1		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	4.6		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	6.9		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	4.6		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	122.3		93.6	90.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,366,473
1 固定資産	3,990,159
(1) 有形固定資産	3,979,399
(2) 無形固定資産	661
(3) 投資その他の資産	10,099
2 流動資産	4,376,314
(1) 現金及び預金	2,604,354
(2) 未収金及び未収収益	1,744,050
(3) 貸倒引当金( )	397
(4) 貯蔵品	27,307
3 繰延資産	-
負債合計	4,268,149
1 固定負債	3,588,378
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,625,576
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	962,802
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	611,774
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	319,900
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	111,521
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	179,353
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	67,997
(1) 長期前受金	983,371
(2) 長期前受金収益化累計額( )	915,374
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	4,098,324
1 資本金	2,970,723
2 剰余金	1,127,601
(1) 資本金剰余金	3,904
(2) 利益剰余金	1,123,697
負債・資本合計	8,366,473
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	213,320	213,320
資本勘定繰入	130,103	130,103
計	343,423	343,423

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				高知県	
市町村・組合名	四万十市				
病院名	市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	11,392 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	99	75.9	48.1	61.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	75.9	48.1	61.1
平均在院日数(一般病床のみ)		19.3	22.3	20.5

設立団体の状況		
人口(人)	32,694	
決算規模(千円)	25,166,451	
標準財政規模(千円)	12,726,166	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	84.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	77.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,619,576			
1 経常収益	1,619,576			
(1) 医業収益	1,145,348			
(うち修正医業収益)	1,145,348			
入院収益	537,313			
外来収益	565,900			
診療収入計	1,103,213			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	42,135			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	474,228			
(うち国・都道府県補助金)	239,798			
(うち他会計補助・負担金)	193,918			
(うち長期前受金戻入)	33,441			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,553,044			
2 経常費用	1,506,760			
(1) 医業費用	1,436,714			
職員給与費	837,322	73.1	60.2	76.8
材料費	177,136	15.5	25.3	14.4
(うち薬品費)	102,947	9.0	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	73,491	6.4	11.6	6.0
減価償却費	90,378	7.9	9.0	11.4
経費	314,366	27.4	22.5	31.5
(うち委託料)	173,627	15.2	12.5	14.5
研究研修費	851			
資産減耗費	16,661			
(2) 医業外費用	70,046			
(うち支払利息)	13,476	1.2	1.2	1.4
(3) 特別損失	46,284			
損益	112,816			
純損益	66,532			
累積欠損金	2,407,409			
経常収支比率	107.5		105.6	103.4
医業収支比率	79.7		85.1	74.3
修正医業収支比率	79.7		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	12.0		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	16.9		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	12.0		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	94.6		93.6	79.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,984,541
1 固定資産	1,444,684
(1) 有形固定資産	1,444,049
(2) 無形固定資産	635
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	539,857
(1) 現金及び預金	120,134
(2) 未収金及び未収収益	425,324
(3) 貸倒引当金( )	30,865
(4) 貯蔵品	25,264
3 繰延資産	-
負債合計	2,181,411
1 固定負債	1,067,596
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	485,791
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	581,805
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	578,735
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	85,534
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	100,000
(5) 引当金	111,920
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	200,000
(8) 未払金及び未払費用	57,802
(9) 前受金及び前受収益	494
3 繰延収益	535,080
(1) 長期前受金	1,199,949
(2) 長期前受金収益化累計額( )	664,869
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-196,870
1 資本金	2,206,931
2 剰余金	-2,403,801
(1) 資本剰余金	3,608
(2) 利益剰余金	-2,407,409
負債・資本合計	1,984,541
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	196,870
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	139,790	193,918
資本勘定繰入	66,224	114,984
計	206,014	308,902

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	56,321	4.7
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	210.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				高知県	
市町村・組合名	本山町				
病院名	嶺北中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,235 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救臨へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	55	70.2	66.7	72.3
療養	44	79.1	76.8	78.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	74.1	71.2	74.9
平均在院日数(一般病床のみ)		19.0	18.9	18.6

設立団体の状況		
人口(人)	3,261	
決算規模(千円)	5,290,673	
標準財政規模(千円)	2,641,360	
財政力指数	0.16	
経常収支比率(%)	87.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	17.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,646,807			
1 経常収益	1,646,807			
(1) 医業収益	1,144,370			
(うち修正医業収益)	1,106,352			
入院収益	632,110			
外来収益	379,075			
診療収入計	1,011,185			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	133,185			
(うち他会計負担金)	38,018			
(2) 医業外収益	502,437			
(うち国・都道府県補助金)	130,872			
(うち他会計補助・負担金)	236,135			
(うち長期前受金戻入)	85,863			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,556,283			
2 経常費用	1,551,433			
(1) 医業費用	1,456,917			
職員給与費	917,074	80.1	60.2	76.8
材料費	112,317	9.8	25.3	14.4
(うち薬品費)	39,274	3.4	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	67,373	5.9	11.6	6.0
減価償却費	120,507	10.5	9.0	11.4
経費	298,289	26.1	22.5	31.5
(うち委託料)	126,993	11.1	12.5	14.5
研究研修費	8,730			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	94,516			
(うち支払利息)	27,189	2.4	1.2	1.4
(3) 特別損失	4,850			
損益	95,374			
純損益	90,524			
累積欠損金	-			
経常収支比率	106.1		105.6	103.4
医業収支比率	78.5		85.1	74.3
修正医業収支比率	75.9		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	16.6		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	24.0		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	16.6		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	88.5		93.6	79.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,563,640
1 固定資産	3,110,117
(1) 有形固定資産	3,076,875
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	33,242
2 流動資産	453,523
(1) 現金及び預金	39,704
(2) 未収金及び未収収益	402,196
(3) 貸倒引当金( )	2,359
(4) 貯蔵品	13,982
3 繰延資産	-
負債合計	2,840,230
1 固定負債	1,453,733
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,402,063
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	51,670
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	344,809
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	189,285
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	55,319
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	40,000
(8) 未払金及び未払費用	52,624
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,041,688
(1) 長期前受金	1,774,347
(2) 長期前受金収益化累計額( )	732,659
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	723,410
1 資本金	629,170
2 剰余金	94,240
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	94,240
負債・資本合計	3,563,640
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	274,153	274,153
資本勘定繰入	118,874	118,874
計	393,027	393,027

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和3年度)</b>		都道府県名	
		高知県	
市町村・組合名	いの町		
病院名	いの町立国民健康保険仁淀病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	8,101 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	14	指定病院の状況	救 災
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	60	74.4	65.9	75.6
療養	40	83.2	82.7	90.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	77.9	72.6	81.5
平均在院日数(一般病床のみ)		20.2	20.4	19.1

設立団体の状況		
人口(人)	21,374	
決算規模(千円)	15,904,017	
標準財政規模(千円)	8,510,448	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	91.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,831,032			
1 経常収益	1,831,032			
(1) 医業収益	1,051,181			
(うち修正医業収益)	1,004,705			
入院収益	649,960			
外来収益	285,385			
診療収入計	935,345			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	115,836			
(うち他会計負担金)	46,476			
(2) 医業外収益	779,851			
(うち国・都道府県補助金)	49,080			
(うち他会計補助・負担金)	187,740			
(うち長期前受金戻入)	77,970			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,946,687			
2 経常費用	1,946,687			
(1) 医業費用	1,418,068			
職員給与費	830,560	79.0	60.2	66.7
材料費	118,338	11.3	25.3	17.8
(うち薬品費)	38,826	3.7	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	76,438	7.3	11.6	9.2
減価償却費	121,040	11.5	9.0	10.4
経費	346,886	33.0	22.5	28.7
(うち委託料)	189,084	18.0	12.5	13.3
研究研修費	698			
資産減耗費	546			
(2) 医業外費用	528,619			
(うち支払利息)	22,261	2.1	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常				
純				
損	-115,655			
益	-115,655			
累積欠損金	1,731,224			
経常収支比率	94.1		105.6	105.7
医業収支比率	74.1		85.1	80.6
修正医業収支比率	70.9		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	12.8		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	22.3		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	12.8		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	82.0		93.6	90.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,150,246
1 固定資産	2,652,297
(1) 有形固定資産	2,571,584
(2) 無形固定資産	748
(3) 投資その他の資産	79,965
2 流動資産	497,949
(1) 現金及び預金	204,323
(2) 未収金及び未収収益	277,943
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	15,683
3 繰延資産	-
負債合計	2,175,193
1 固定負債	1,349,691
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,178,083
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	171,608
(7) 一 時 借 入 金	-
(7) リ ー ス 債 務	-
2 流動負債	226,155
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	88,029
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	70,512
(6) リ ー ス 債 務	-
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未払金及び未払費用	63,200
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	599,347
(1) 長期前受金	1,175,602
(2) 長期前受金収益化累計額( )	576,255
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	975,053
1 資 本 金	2,625,859
2 剰 余 金	-1,650,806
(1) 資 本 剰 余 金	45,318
(2) 利 益 剰 余 金	-1,696,124
負債・資本合計	3,150,246
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	231,911	234,216
資本勘定繰入	46,222	47,460
計	278,133	281,676

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	164.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				高知県	
市町村・組合名	佐川町				
病院名	高北国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,215 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	56	85.4	82.4	87.3
療養	42	88.1	92.2	88.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	86.5	86.6	87.9
平均在院日数(一般病床のみ)		22.6	24.5	22.9

設立団体の状況	
人口(人)	12,323
決算規模(千円)	9,222,445
標準財政規模(千円)	4,441,442
財政力指数	0.33
経常収支比率(%)	83.5
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,737,268			
1 経常収益	1,736,734			
(1) 医業収益	1,343,864			
(うち修正医業収益)	1,290,864			
入院収益	792,339			
外来収益	442,198			
診療収入計	1,234,537			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	109,327			
(うち他会計負担金)	53,000			
(2) 医業外収益	392,870			
(うち国・都道府県補助金)	30,405			
(うち他会計補助・負担金)	114,328			
(うち長期前受金戻入)	66,018			
(うち資本費繰入収益)	27,680			
(3) 特別利益	534			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,711,250			
2 経常費用	1,711,234			
(1) 医業費用	1,524,975			
職員給与費	867,500	64.6	60.2	76.8
材料費	155,535	11.6	25.3	14.4
(うち薬品費)	71,601	5.3	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	75,077	5.6	11.6	6.0
減価償却費	160,156	11.9	9.0	11.4
経費	339,870	25.3	22.5	31.5
(うち委託料)	180,193	13.4	12.5	14.5
研究研修費	1,284			
資産減耗費	630			
(2) 医業外費用	186,259			
(うち支払利息)	25,876	1.9	1.2	1.4
(3) 特別損失	16			
経常損益	25,500			
純損益	26,018			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.5		105.6	103.4
医業収支比率	88.1		85.1	74.3
修正医業収支比率	84.6		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	9.6		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	12.5		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	9.6		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	91.7		93.6	79.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,079,173
1 固定資産	2,054,611
(1) 有形固定資産	2,001,658
(2) 無形固定資産	902
(3) 投資その他の資産	52,051
2 流動資産	1,024,562
(1) 現金及び預金	769,849
(2) 未収金及び未収収益	242,365
(3) 貸倒引当金( )	146
(4) 貯蔵品	11,494
3 繰延資産	-
負債合計	1,827,822
1 固定負債	1,272,382
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,272,382
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リリース債務	-
2 流動負債	311,415
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	173,351
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	64,315
(6) リリース債務	2,644
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	68,962
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	244,025
(1) 長期前受金	933,036
(2) 長期前受金収益化累計額( )	689,011
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,251,351
1 資本金	766,068
2 剰余金	485,283
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	485,283
負債・資本合計	3,079,173
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	167,222	167,328
資本勘定繰入	97,163	99,913
計	264,385	267,241

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				高知県	
市町村・組合名	梶原町				
病院名	国保梶原病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,884 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救臨 へ 輪		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	30	45.9	50.2	62.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	45.9	50.2	62.1
平均在院日数(一般病床のみ)		15.9	15.9	17.9

設立団体の状況	
人口(人)	3,307
決算規模(千円)	6,912,008
標準財政規模(千円)	3,204,324
財政力指数	0.13
経常収支比率(%)	82.2
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	3.9
将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	478,578				
1 経常収益	475,921				
(1) 医業収益	316,102				
(うち修正医業収益)	309,677				
入院収益	115,649				
外来収益	152,136				
診療収入計	267,785				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	48,317				
(うち他会計負担金)	6,425				
(2) 医業外収益	159,819				
(うち国・都道府県補助金)	5,520				
(うち他会計補助・負担金)	144,465				
(うち長期前受金戻入)	2,702				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	2,657				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	572,888				
2 経常費用	572,888				
(1) 医業費用	552,620				
職員給与費	376,717	119.2	60.2	86.6	
材料費	44,246	14.0	25.3	12.9	
(うち薬品費)	18,547	5.9	13.3	7.1	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	21,614	6.8	11.6	5.1	
減価償却費	23,565	7.5	9.0	12.7	
経費	107,956	34.2	22.5	43.7	
(うち委託料)	51,543	16.3	12.5	21.5	
研究研修費	136				
資産減耗費	-				
(2) 医業外費用	20,268				
(うち支払利息)	6,351	2.0	1.2	1.2	
(3) 特別損失	-				
経常損益	-96,967				
純損益	-94,310				
累積欠損金	306,546				
経常収支比率	83.1		105.6	102.4	
医業収支比率	57.2		85.1	63.8	
修正医業収支比率	56.0		82.2	58.5	
他会計繰入金対経常収益比率	31.7		11.3	33.0	
他会計繰入金対医業収益比率	47.7		14.9	56.7	
他会計繰入金対総収益比率	31.5		11.2	33.3	
実質収益対経常費用比率	56.7		93.6	68.6	

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	860,136
1 固定資産	570,858
(1) 有形固定資産	570,713
(2) 無形固定資産	145
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	289,278
(1) 現金及び預金	229,846
(2) 未収金及び未収収益	56,462
(3) 貸倒引当金( )	466
(4) 貯蔵品	3,436
3 繰延資産	-
負債合計	301,436
1 固定負債	121,553
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	121,553
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リリース債務	-
2 流動負債	114,479
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	53,515
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	24,554
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	36,264
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	65,404
(1) 長期前受金	194,831
(2) 長期前受金収益化累計額( )	129,427
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	558,700
1 資本金	660,246
2 剰余金	-101,546
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-101,546
負債・資本合計	860,136
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	107,262	150,890
資本勘定繰入	34,842	34,842
計	142,104	185,732

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	97.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				高知県	
市町村・組合名	大月町				
病院名	国保大月病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,103 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況	救 へ		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	25	64.2	56.0	63.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	25	64.2	56.0	63.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.9	18.8	17.6

設立団体の状況		
人口(人)	4,434	
決算規模(千円)	5,119,930	
標準財政規模(千円)	3,015,771	
財政力指数	0.18	
経常収支比率(%)	83.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	21.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	540,490			
1 経常収益	540,490			
(1) 医業収益	448,204			
(うち修正医業収益)	389,548			
入院収益	145,599			
外来収益	199,436			
診療収入計	345,035			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	103,169			
(うち他会計負担金)	58,656			
(2) 医業外収益	92,286			
(うち国・都道府県補助金)	2,047			
(うち他会計補助・負担金)	48,353			
(うち長期前受金戻入)	19,747			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	507,313			
2 経常費用	507,313			
(1) 医業費用	497,648			
職員給与費	327,602	73.1	60.2	86.6
材料費	46,616	10.4	25.3	12.9
(うち薬品費)	18,999	4.2	13.3	7.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	21,735	4.8	11.6	5.1
減価償却費	33,995	7.6	9.0	12.7
経費	88,045	19.6	22.5	43.7
(うち委託料)	43,770	9.8	12.5	21.5
研究研修費	593			
資産減耗費	797			
(2) 医業外費用	9,665			
(うち支払利息)	545	0.1	1.2	1.2
(3) 特別損失	-			
損益	33,177			
純損益	33,177			
累積欠損金	143,366			
経常収支比率	106.5		105.6	102.4
医業収支比率	90.1		85.1	63.8
修正医業収支比率	78.3		82.2	58.5
他会計繰入金対経常収益比率	19.8		11.3	33.0
他会計繰入金対医業収益比率	23.9		14.9	56.7
他会計繰入金対総収益比率	19.8		11.2	33.3
実質収益対経常費用比率	85.4		93.6	68.6

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	717,720
1 固定資産	321,283
(1) 有形固定資産	321,283
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	396,437
(1) 現金及び預金	301,118
(2) 未収金及び未収収益	90,919
(3) 貸倒引当金( )	90,629
(4) 貯蔵品	4,690
3 繰延資産	-
負債合計	215,429
1 固定負債	45,350
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	45,350
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	56,831
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,524
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	21,000
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	23,307
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	113,248
(1) 長期前受金	217,128
(2) 長期前受金収益化累計額( )	103,880
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	502,291
1 資本金	645,657
2 剰余金	-143,366
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-143,366
負債・資本合計	717,720
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	108,239	107,009
資本勘定繰入	7,183	12,991
計	115,422	120,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		高知県	
市町村・組合名	高知県・高知市病院企業団		
病院名	高知医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	75,965 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	40	指定病院の状況	救急が感へ災地輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	548	70.4	69.4	80.0
療養	-	-	-	-
結核	20	33.7	21.2	4.3
精神	44	36.7	36.8	30.5
感染症	8	-	1.9	0.8
計	620	65.9	64.7	73.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.9	11.4	11.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	25,198,562			
1 経常収益	25,103,327			
(1) 医業収益	18,565,733			
(うち修正医業収益)	18,073,729			
入院収益	13,178,422			
外来収益	4,344,097			
診療収入計	17,522,519			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,043,214			
(うち他会計負担金)	492,004			
(2) 医業外収益	6,537,594			
(うち国・都道府県補助金)	3,247,119			
(うち他会計補助・負担金)	1,941,804			
(うち長期前受金戻入)	1,111,746			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	95,235			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	23,363,005			
2 経常費用	23,249,804			
(1) 医業費用	21,791,285			
職員給与費	10,312,121	55.5	60.2	54.0
材料費	5,814,390	31.3	25.3	29.9
(うち薬品費)	3,126,358	16.8	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,688,032	14.5	11.6	13.4
減価償却費	1,870,245	10.1	9.0	8.1
経費	3,742,633	20.2	22.5	19.6
(うち委託料)	2,602,839	14.0	12.5	12.7
研究研修費	30,348			
資産減耗費	21,548			
(2) 医業外費用	1,458,519			
(うち支払利息)	332,192	1.8	1.2	1.0
(3) 特別損失	113,201			
損益	1,853,523			
純損益	1,835,557			
累積欠損金	8,347,120			
経常収支比率	108.0		105.6	105.8
医業収支比率	85.2		85.1	89.1
修正医業収支比率	82.9		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	9.7		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	13.1		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	9.7		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	97.5		93.6	97.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	37,197,767
1 固定資産	23,771,969
(1) 有形固定資産	22,787,548
(2) 無形固定資産	762,816
(3) 投資その他の資産	221,605
2 流動資産	13,425,798
(1) 現金及び預金	5,149,718
(2) 未収金及び未収収益	5,619,408
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	68,206
3 繰延資産	-
負債合計	30,931,264
1 固定負債	22,777,196
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,382,898
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,394,298
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	5,182,080
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,471,889
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	611,241
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,013,391
(9) 前受金及び前受収益	83
3 繰延収益	2,971,988
(1) 長期前受金	13,036,494
(2) 長期前受金収益化累計額( )	10,064,506
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	6,266,503
1 資本金	13,385,957
2 剰余金	-7,119,454
(1) 資本金剰余金	1,227,666
(2) 利益剰余金	-8,347,120
負債・資本合計	37,197,767
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,413,888	2,433,808
資本勘定繰入	1,559,487	1,571,848
計	3,973,375	4,005,656

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。